

第15回（令和2年度 第1回）新潟市議会 議会報告会 市民厚生常任委員会報告

（令和2年2月定例会報告）

1 市民生活部

新潟市パートナーシップ宣誓制度

ア 内容

「新潟市人権教育・啓発推進計画」の理念に基づき、互いの個性や多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず誰もが自分らしく暮らすことのできる社会の実現を目指し、「新潟市パートナーシップ宣誓制度」を開始する。

イ 委員会での主な意見等

- ・導入を評価する。広く広報されたい。
- ・受理証明や解消等についても、慎重に検討されたい。

2 危機管理防災局

自主防災組織活動助成金（2,500万円）

ア 内容

自主防災組織が自主的な防災訓練を実施する上で、必要な防災資機材の購入等に対する経費に対し助成金を交付する。

イ 委員会での主な意見等

- ・自主防災組織活動助成金額の見直しについて、訓練経費の削減となるため、丁寧に説明し周知されたい。
- ・消防などの専門家を呼んだ場合の加配を加え、人数ごとの上限額が変わらないようにされたい。

3 福祉部

障がい者グループホーム運営費補助金（1億2,355万5千円）

ア 内容

障がい者が地域で自立した生活を望むことに対する支援対策として、共同生活の場として運営されるグループホームの運営費の一部を補助し、もって障がい者の自立の促進を図る。

イ 委員会での主な意見等

- ・重度障がい者対応グループホームの整備について、助成の拡充を評価する。
- ・さらなる施設整備と、国、県との積極的な協議を要望する。
- ・地域の理解を得るため、「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の積極的周知を求める。

4 こども未来部

保育士宿舎借り上げ支援事業（1,152万円）

ア 内容

子育て支援関連として、保育の担い手の県外流出防止などを目的に保育士宿舎の借り上げを行う民間保育事業者の借り上げ費用の一部を補助する。

イ 委員会での主な意見等

- ・事業実施を評価し、期待する。
- ・積極的なPRと使い勝手のいいようにブラッシュアップを行い、保育士確保につなげられたい。

5 保健衛生部

在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業（200万円）

ア 内容

高齢化の進展に伴い今後も増え続ける救急搬送需要に対応するため「救急医療連携シート（ニイガタQQ連携シート）」を作成し、家族、救急隊、医療・ケアチームと共有・活用することで、円滑な救急搬送につなげる。併せて、普段から治療や過ごし方に関する希望を家族などと共有しておくことの大切さについて理解と実践を促す。

イ 委員会での主な意見等

- ・取り組みを評価する。全区での展開を期待する。
- ・きらりん緊急情報キットなどの先事例を取り入れ、進化させた事業となるよう要望する。
- ・対象者、関係機関と連携し、実効性のある救急医療連携シートとされたい。

6 消防局

Net（ネット）119緊急通報システム・三者間同時通訳システムの整備 （488万7千円）

ア 内容

Net（ネット）119緊急通報システムにより、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい者がスマートフォン等を利用し、円滑に消防への通報を行えるようにする。また、三者間同時通訳システムは、外国人からの119番通報を英語、中国語等の主要18か国に対応できる電話通訳センターを介して、24時間365日の対応を行う。

イ 委員会での主な意見等

- ・事業立ち上げを評価する。
- ・対象者への丁寧な説明と周知を徹底されたい。